



色鮮やかなバラ見頃に

敷島公園門倉テクノばら園で、3年ぶりとなる春のばら園まつりを6月5日(日)まで開催中。あかぎの輝きをはじめ、たくさんのバラが園内を彩っています。また、期間中は日没からライトアップを実施。日中とは異なる表情のバラが楽しめます。市公式YouTubeでは、PR動画を配信中です。



故郷の平和を願い演奏

ウクライナ出身のカテリーナさんが5月8日、中央公民館でチャリティーコンサートを開催。約200人の観客に向けて、民族楽器「バンドゥーラ」の演奏を披露しました。カテリーナさんは「何の罪もない子どもまでもが犠牲になる戦争は、絶対にやめてほしい」と話しました。



地域芸能がプロと競演

5月21日、産泰神社（下大屋町）と二宮赤城神社（二之宮町）を会場に「産泰神社太々神楽、二之宮式三番叟・薪能まつり」を開催。太々神楽と三番叟を各保存会が披露しました。また、能楽師の野村萬斎さんと下平克宏さんも出演。狂言や能などを披露し会場を魅了しました。

CITY WATCHING



知見を伝えて将来に役立てる

気象庁に37年勤めた栗原さん。退職後はその経験を生かして、国内外の気象や防災の分野で活躍している。

「気象庁では気候変動の調査研究や温暖化予測、長期予報などの仕事を長く担当しました。現在は気象業務支援センターで、JICAを通じてインドネシアの気象・気候能力向上プログラムの関わっています。国内では、都内の大学で気候の将来予測などの講義をしています」

地域の防災対策にも協力を惜まず、防災アドバイザーを担って町の防災訓練などにも講師として参加してきた。

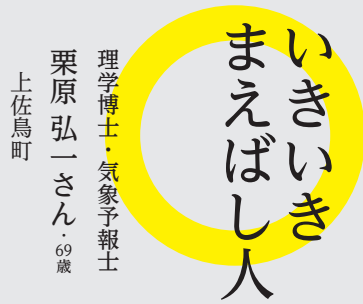
「他の地域と比べて、大きな災害が少ないことが前橋の特徴と感じている人もいます。」

しかし、災害はいつでも起きてもおかしくない。自分の身は自分で守るという自助の意識を持つことが大切です」

栗原さん宅では、防災対策としてローリングストック法を実践している。備蓄品を定期的に見直して食べるなどし、新たな物を備蓄する方法だ。

「毎月11日は我が家の防災の日と決めて、期限の近い物がなければ確認する日になっています。備蓄をしている家はまだ少ないかもしれませんが、ぜひ皆さんもやってもらいたいです」

栗原さんは「今まで得た知見を、途上国の気象担当省庁や日本の学生、地域に引き続き還元していきたい」と力強く語っていた。



理学博士・気象予報士
栗原弘一さん・69歳
上佐鳥町



園農政課
☎ 027-898-5841



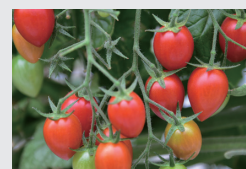
ミニトマト2品種を手に、おかだ農園の岡田崇志さん

旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は、まえばしアグリネットが生産しているトマトです。

まえばしアグリネットは、自分たちが生産するトマトを赤城の恵ブランド認証品にすることを目的にトマト農家で立ち上げた団体。同団体の認証品は「甘しずく」と「あまえんぼ」「きかんぼ」「水切り」の4つです。

どのトマトにも共通する特徴が糖度の高さ。同団体を立ち上げた一人、おかだ農園の岡田さんは消費者が求めているのは甘いトマト。子どももおいしく食べられるように糖度の高い品種にこだわって育てています」と話します。1番甘い甘しずくは糖度12度以上、他3品種も9度以上の糖度があります。

もう一つのこだわりは消費者に



認証品のあまえんぼ〜



認証品のきかんぼ〜

とって安心・安全なトマトであること。独自に有機肥料を作り、化学肥料や農薬をできるだけ使わずに栽培しています。「おいしくて安全で食べた人が満足する。そんなトマトをこれからも作っていく」と岡田さんは語ります。

そんな思いが込められたミニトマトのあまえんぼ・きかんぼを使ったオリジナルメニューを、6月4日(土)から26日(日)まで市内飲食店などで味わえます。各店で同品種のおいしさを最大限に引き出しました。ぜひ食べ比べてください。（関連記事は14ページ）

